参考資料1

第５次三郷市総合計画

基本構想

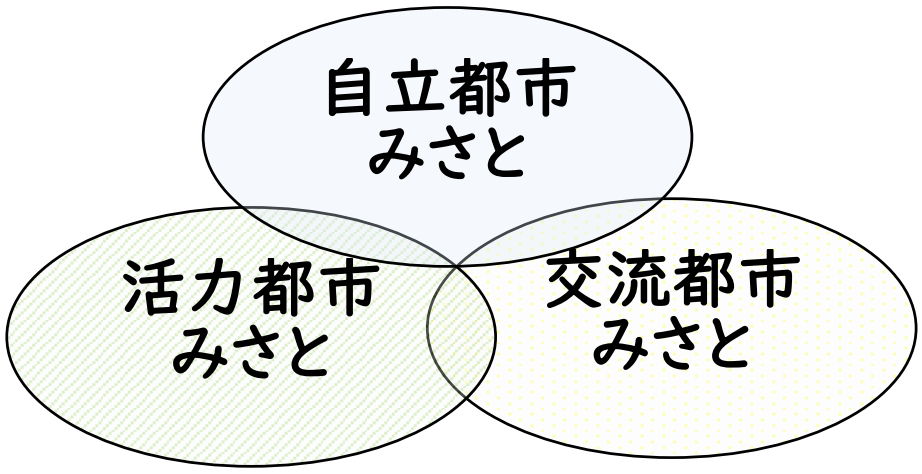
1 基本構想の期間

基本構想は、令和12年度（2030年度）を目標年次とし、本市のまちづくりの理念や将来都市像を示し、これらを実現するための方針を定めるものです。

計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間とします。

2 まちづくりの理念

まちづくりの理念は、本市のまちづくりを進めていくうえでの重要な基本姿勢であり、市民等と行政が共有したい基本的な考えです。



「自立都市　みさと」とは

本市が有する優れた地域特性を活かして、市として社会的・経済的に「自立」できるまちづくりを目指します。

「活力都市　みさと」とは

JR 武蔵野線・つくばエクスプレスの鉄道や常磐自動車道・首都高速6号線・東京外環自動車道の高速道路網など、恵まれた交通立地条件を活かしながら、人や産業に「活力」あるまちづくりを目指します。

「交流都市　みさと」とは

市民が三郷市を誇りに思い、市の特性をアピールしていくことで、市内外の人々との「交流」が広がるまちづくりを目指します。

3 将来都市像

3つの「まちづくりの理念」のもと、本市は大きな飛躍を遂げ、成長を続けてきました。成長を続けてきた第４次三郷市総合計画を継承し、今後の三郷市における10年後のまちづくりの目標を「将来都市像」として以下のとおりに定めます。

きらりとひかる田園都市みさと

～ 人にも企業にも選ばれる魅力的なまち ～

『きらりとひかる』

地域に住んでいる人々、地域を故郷と思う人々が、三郷を誇りにすることの大切さを感じた時、三郷のまちは輝き光ります。

「きらりとひかる」という意味は、三郷を誇りに思えるようなまちを実現することです。他にはない、三郷の個性を見つけること、三郷らしさを創ることです。そのために、もう一度、本市のあらゆる資源（人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育など）を再確認しつつ、活力があり、ぬくもりのあるまちをめざします。

『田園都市』

「自立都市みさと」・「活力都市みさと」・「交流都市みさと」という「まちづくりの理念」を実現するために、豊かな自然との共生や職住近接など、人にやさしく、ゆとりとぬくもりのある高品質（ハイクオリティ）なまち（＝田園都市）をめざします。

『選ばれる魅力的なまち』

本市がどのまちよりも魅力的で、活力ある“まち”として機能していくために、市民や市外の人々から、あるいは企業から三郷市に、「住み続けたい」、「行ってみたい」、「住んでみたい」、「立地したい」と思えるような「選ばれる魅力的なまち」になることをめざします。

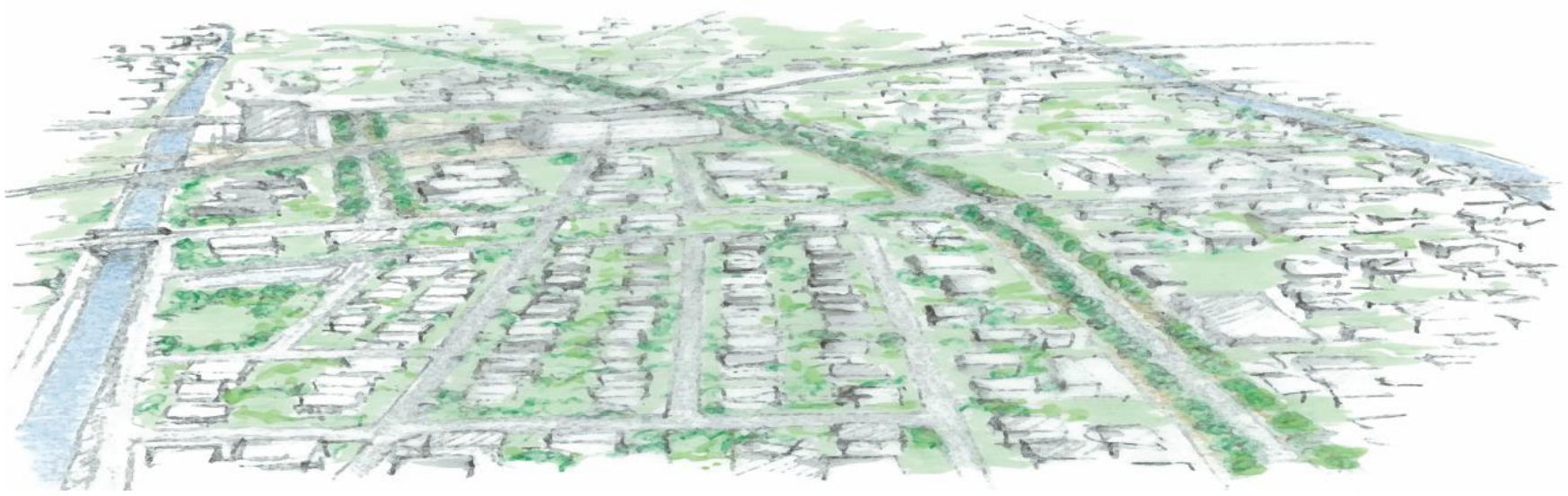
4 人口フレーム

計画人口　令和12年　14万8千人

・推計方法は、コーホート要因法※を活用した目標推計値です。

・三郷中央地区、インターA地区の開発や、各種政策を実施することで、自然増、社会増、合計特殊出生率及び健康寿命の延伸を図るものとして、計画人口を設定しました。

※コーホート要因法：年齢別人口の加齢にともなって生ずる年々の変化をその要因（死亡、出生、および人口移動）ごとに計算して将来の人口を求める方法。



5 将来都市構造

将来都市構造とは将来都市像やまちづくりの目標の達成を目指して、市域全体の特徴や骨格を空間的かつ概念的に表し、目指すべき将来の都市の姿を分かりやすく示したもので、それを描いたものが将来都市構造図です。

《将来都市構造図》

水戸方面
府中本町方面
三郷料金所
スマートIC
産業拠点
三郷流山線
地域拠点
産業拠点
新三郷駅
常磐自動車道
三郷吉川線
三郷松伏線
練馬方面
草加流山線
駒形線
天神笹塚線
地域拠点
三郷駅
武蔵野線
西船橋方面
外環三郷西IC
新和吉川線
三郷谷口線
国道298号
三郷IC
産業拠点
市役所
つくば方面
都市交流拠点
三郷中央IC
三郷中央駅
首都高速6号三郷線
東京方面
つくばエクスプレス
秋葉原方面
新和高須線
草加三郷線
葛飾吉川松伏線
地域拠点
三郷南IC
松戸三郷線
三郷公園線
市川方面
凡　例
都市交流拠点
地域拠点
産業拠点
産業振興地区
防災減災核
レクリエーション核
ネットワーク軸
水と緑の骨格軸
鉄道
高速道路
主要道路等